

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株		
工期	令和6年3月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	古畑 誠		
作業名称	下り線 ひるがのSA簡易目隠しフェンス設置作業	作業手順書	作成年月日	令和3年3月17日		
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	4tユニック、2tトラック		改正年月日			
			現場責任者			
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	ハンマードリル、レンチ、スパナ、インパクトドライバー、石頭ハンマー、シャベル、スコップ、		協力会社	会社名 -		
	ほうき、塵取り、水平機、ブルーシート、木材		協力会社責任者	自車サイン -		
保護具	ヘルメット、手袋、防護メガネ、防塵マスク		作業順序 1 現地確認 2 準備作業 3 既設システムカデー移設 4 基礎設置 5 フェンス設置工 6 後片付け 7 8			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準 特)の区別を記す	自動車運転免許証					
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 2人、保安員 1人					
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日			令和2年10月26日	
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自車サインする)				合計 3名	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△ △×、×△	3:中程度 職長が確認
					××	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
					5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要	

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)									
	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締めの位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXOOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。								
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
既存システムカデー移設 (責任者、作業員)									
	4tユニックを使用しシステムカデーを移設をする。	吊荷の重量及び玉掛け方法を 確認							
	玉掛け用具を使用し、吊り荷を玉掛けをする	玉掛け用具の吊り角度を 60° 以内に 吊荷の重心がずれ、荷崩れし被災する。	吊荷の重心がずれ、荷崩れし被災する。	△	△	△△	3		吊り角度及び重心の確認、周囲の確認
	4tユニックを使用しシステムカデーを吊り移動をする。	吊荷を移動する範囲及び 吊荷の下には立入禁止	吊荷の重心がずれ、荷崩れし被災する。	△	△	△△	3		作業範囲以内の立入禁止、合図の徹底
基礎設置 (責任者、作業員)									
	設置箇所に基礎を設置する。	重量物のため、運搬時注意	運搬時に基礎を足元に落とす。	△	△	△△	3		無理な体勢で運ばない。台車を使う。
フェンス設置 (責任者、作業員)									
	シャベル等を使用し、セメント、砂と水を混ぜ合わせモルタルを作る。	混合時粉塵注意	混合時にセメントが目に入る。 混合時に道路や、一般車に飛散する。	×	△	×△	3		防護メガネ、粉塵マスク、手袋を着用する。 周囲を確認し、ブルーシート等で養生する。
	基礎にフェンスを設置し、モルタルを充填する。	フェンスが傾かないよう、水平機を使用し、垂直に設置する。 フェンスの根本に水がたまらないよう中央から端に向かって勾配をつける。 フェンスが転倒しないよう単管パイプを使用し、固定する。	モルタルが道路や、一般車に飛散する。	×	△	×△	3		周囲を確認し、ブルーシート等で養生する。
後片付け (責任者、作業員)									
	清掃	破片、工具等が残っている							
									工事車両幕を外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事